

News Release

報道関係各位

2024年2月1日
株式会社ブイキューブ

福井県高浜町、 急増したWeb会議、会議室の“取り合い”をテレキューブで解消 ～オープンスペースにも圧迫感のないセキュアな空間を提供～

株式会社ブイキューブ（本社：東京都港区、代表取締役社長 国内CEO：高田雅也、以下 ブイキューブ）は、福井県高浜町が、防音個室ブース「テレキューブ」を導入したことをお知らせいたします。同町ではコロナ禍以降急増したWeb会議に、テレキューブを活用しています。



<ブース外観>

■防音個室ブース「テレキューブ」設置の経緯、導入前の課題

福井県高浜町は、業務のオンライン化を積極的に推し進めています。特にコロナ禍以降、役場内では、県の担当者や他の自治体とのWeb会議の回数が大幅に増加していました。そうした中で課題となっていたのが、会議スペースの不足です。自席からのWeb会議への参加は、セキュリティの観点のみならず、利用者からの見栄えも考慮すると実施しづらく、結果、対面で使う大きな会議室は“取り合い”の状態でした。

当初会議室の増設、パーティションの設置なども検討されましたが、同町の役場施設は数年前にリニューアルし、利用者からは、広々としたオープンな空間が好評を博していました。そのため、同町では、空間を邪魔せずにセキュアな環境を両立する、Web会議に対応できるスペースの確保が急務でした。

■防音個室ブース「テレキューブ」の活用方法

テレキューブは遮音性が高く周囲の雑音をシャットアウトするとともに、センシティブな話題が漏れ聞こえる心配がありません。また、建物の中で独立して設置をすることが可能で、大掛かりな工事

等は不要で、空間の雰囲気を壊しません。導入後はほぼ毎日利用されており、8割以上の満足度を得られる結果を得ています。

■防音個室ブース「テレキューブ」導入の決め手

以下の点が評価され、防音個室ブース「テレキューブ」が導入されました。

- ・遮音性が高く、セキュアな環境を用意できる
- ・利用率を検証するため、サブスクリプションプランで、初期費用を抑えられる
- ・デザイン性の高い建物内でも、コンセプトを邪魔しない。スペースに応じて適切な大きさのテレキューブを導入できる

実際の導入後、同町からは次のようなコメントをいただいています。

「高浜町ではコロナ禍以降、業務のオンライン化を積極的に進めており、Web会議などの回数が飛躍的に増加しています。その一方で、来客からの見栄えやセキュリティの観点から自席ではWeb会議を実施しづらいことも多く、Web会議のために大きな会議室を利用するケースが増え、複数の部署で会議スペースの“取り合い”になることも増えていました。

ただ、高浜町庁舎は数年前にリニューアルし、オープンで広々とした空間が町民の方にも親しまれており、大きなパーティションを使うのは避けたいと思っていました。そんな中で関係者から紹介してもらったテレキューブは、まさに最適な解決策だと感じました。

導入後はほぼ毎日職員が利用しており、想定以上に活用されていると感じます。利用した職員へのアンケート結果では、快適性だけでなく遮音性への満足度も高く、8割以上が効果的だと答えたことから、来年度予算で本格導入を検討することになりました。今後は町内の公共施設にも設置し、町民の方々も含めより幅広く活用できればと考えています。」

ブイキューブでは、今後もお客様のコミュニケーションDX実現に向けて、様々なコミュニケーションサービスを提供してまいります。

福井県高浜町の導入事例の詳細（導入前の課題と導入効果など）はこちらをご覧ください。

<https://jp.vcube.com/telecube/case/telecube027.html>

防音個室ブース「テレキューブ」の詳細はこちらをご覧ください。

<https://jp.vcube.com/telecube>

【ブイキューブとは <https://jp.vcube.com/>】

ブイキューブは「Evenな社会の実現」というミッションを掲げ、「いつでも」「どこでも」コミュニケーションが取れる環境を整備することで、時間や距離の制約によって起こる様々な機会の不平等の解消に取り組んでいます。ビジュアルコミュニケーションによって、人と人が会うコミュニケーションの時間と距離を縮め、少子高齢化社会、長時間労働、教育や医療格差などの社会課題を解決し、すべての人が機会を平等に得られる社会の実現を目指します。

■報道関係のお問い合わせ先：ブイキューブ 広報事務局（ブラップジャパン 内）

E-mail : vcube_release@prap.co.jp